

エコアクション 21
環境経営レポート

<2024 年度版>
(対象期間 2024 年 6 月～2025 年 5 月)

2025 年 6 月 1 日作成

株式会社 墨田電材社

目 次

1. 環境経営方針.....	P 2
2. 会社概要.....	P 3
3. 実施体制.....	P 4
4. 環境経営目標とその実績.....	P 5
5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組..	P 6
6. 年度別環境パフォーマンス実績.....	P 7～8
7. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無..	P 8～9
8. 代表者による全体評価と見直し結果.....	P 10

1.環境経営方針

環境経営方針



株式会社墨田電材社（以下「弊社」という）は、電設資材、制御機器を主体とした商社事業を営んでおり、人に優しく、町に優しく、SDGsを意識し環境を配慮する企業理念の下、低炭素化社会に向けて環境を配慮した製品を流通し、情報を提供することを基本姿勢に、地球環境保全と持続可能な社会形成に貢献することを経営の重要課題として認識しています。

弊社は、環境関連法規等を遵守し、環境経営マネジメントシステム(EA21)を運営するなかで、次の環境行動指針を基本的方向と定め、これを全ての従業員に周知徹底させ全員で継続的環境負荷低減に取り組むことを宣言します。

【環境行動指針】

1. 二酸化炭素排出量削減

- ① 事務所・倉庫での電力使用量を削減します。
- ② 運送・営業車両での燃料使用量を削減します。



2. 廃棄物排出量削減

- ③ 紙資源のリサイクルを促進します。
- ④ 納品時における過大包装を中止し、梱包容器（ダンボール）・パッキング材料の再利用をします。



3. 水使用量削減

- ⑤ 蛇口に節水こまを設置しております。
- ⑥ トイレの流水量を調節し、トイレ用水を節約します。



4. グリーン購入の推進

エコマーク製品や循環製品等の環境配慮の製品・サービスの購入に努めます。



5. 環境配慮製品・サービスの提供

環境保全型商品等の販売及び消費者に対する情報提供等に努めます。

6. 環境教育の充実

- ① 環境意識の向上を図るため、従業員を対象に定期的な環境教育を実施します。
- ② 各団体の主催する環境問題等のセミナーに積極的に参加し、常に最新の問題点を認識します。



この環境経営方針を全社員に周知し、一般にも公開します。

2025年6月1日



株式会社墨田電材社
代表取締役 鈴木良昇

2.会社概要

2・1 事業所名及び代表者

株式会社墨田電材社

代表取締役社長 鈴木良昇

2・2 事業所の所在地及び認証・登録範囲

事業所名	所在地	業務概要
本社	東京都墨田区京島一丁目 42 番 4 号	営業・業務・ 経理
倉庫	東京都墨田区京島一丁目 42 番 3 号	配送業務

2・3 環境管理責任者及び担当連絡先

環境管理責任者・担当者 本多麻友美

連絡先

電話 03-3619-0321 F A X 03-3611-5470

E-m a i l sumida.denzaisha@gol.com

2・4 事業活動の概要

創業 1946年11月

会社設立 1956年10月

事業内容 電設資材（電気工事材料）制御機器 空調機器卸業

2・5 会社組織

代表取締役

- 経理部
- 営業部
- 業務部
- 配送部（商品管理係）

2・6 事業の規模

資本金 1,000万円

売上高 令和5年度（令和6年6月1日～令和7年5月31日）

25,000万円

従業員数 社員 8名

事業所の敷地・建屋面積

事業所名	敷地面積	建屋延べ床面積
本社	49.5 m ²	165 m ²
倉庫	33 m ²	66 m ²

2・7 施設等の状況（主な機械設備及び車両等）

普通トラック 1台

軽自動車（ワゴン車） 2台

パソコン 9台

サーバー 1基

3.実施体制

環境経営管理実施体制表

代表取締役 鈴木 良昇



環境管理責任者 本多麻友美



部門責任者 吉岡正洋



従業員

	役割、責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・ 環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する。 ・ 効果的で必要十分な実施体制を構築する。 ・ 各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員へ周知する。 ・ EA21 を運用し、維持するための経営資源を用意する。 ・ 環境経営全体の取り組み状況及びその効果を評価し以下の項目を含む総括的な見直しを実施し、必要な指示を行う。 ① 環境経営方針 ② 環境経営目標及び環境経営計画 ③ 実施体制 ・ 環境経営システムに関する決定・承認
環境管理責任者 部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境への負荷と取組状況の把握及び評価。 ・ 環境関連法規などの取りまとめ、並びに遵守状況の評価。 ・ 環境経営目標及び環境経営計画の策定、並びに達成状況・実施状況の評価。 ・ 問題がある場合の是正処置、予防処置の実施。 ・ 教育・訓練の実施。 ・ 環境コミュニケーションの実施（内部、外部、環境レポート） ・ 環境上の緊急事態への準備及び対応。 ・ 文書類の作成・管理
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の達成、並びに環境関連法規などの遵守に必要な取組を実施する。 ・ 必要に応じて手順書を作成し運用する。

4. 環境経営目標とその実績

環境目標	取組項目	基準値		2024 年度	2025 年度	2026 年度
1. 二酸化炭素 排出量の削減	①電力使用量の削減 ②化石燃料 使用量の削減	2023年度 実績 ① 3,776 ② 9,607 合計 13,383 Kg-CO2	目標	基準比 1%削減 13,249 Kg-CO2	基準比 2%削減 13,115 Kg-CO2	基準比 3%削減 12,982 Kg-CO2
			実績	12,935 kg.co2	kg.co2	kg.co2
			達成	○		
2. 廃棄物 排出量の 削減	① 廃棄物の リサイクル推進 ② 最終廃棄 物削減	総排出量 300Kg /年	目標	基準比 0.5%削減 299Kg/年	基準比 1%削減 297Kg/年	基準比 1.5%削減 296Kg/年
			実績	225Kg/年	Kg/年	Kg/年
			達成	○		
3. 水使用量 の削減	生活用水の節 水に努める	水道使用量 49 m ³ /年	目標	基準比 0.5%削減 49 m ³ /年	基準比 1%削減 49 m ³ /年	基準比 1.5%削減 48 m ³ /年
			実績	49 m ³ /年	m ³ /年	m ³ /年
			達成	○		
4. グリーン購 入の推進	環境配慮製品の 購入の促進・情 報の収集	3 件	目標	3 件	3 件	3 件
			実績	3 件	件	件
			達成	○		
5. 環境配慮製 品・サービ スの提供	環境配慮製品の 情報の収集・ 顧客への提供	年 2 回	目標	年 2 回 以上	年 2 回 以上	年 2 回 以上
			実績	2 回	回	回
			達成	○		
6. 環境教育の 推進	①常に環境関連 の商品知識習得 に努める ②展示会見学へ の積極的な参加	年 2 回	目標	年 2 回 以上	年 2 回 以上	年 2 回 以上
			実績	2 回	回	回
			達成	○		

【購入電力の排出係数について】「0.474kg-CO2/kWh」を使用しております。

※CO2 実績 12,935 kg-CO2 の内訳は（電力 3,806、ガソリン 9,129）kg-CO2 です。

5. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組

目標 項番	取組項目	具体的活動内容	実施 状況	取組結果の評価	次年度の取組
1.	①電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチプレートに節電担当者名を表示 ・退室時消灯を徹底 ・退社時の電源確認を徹底 ・空調の適正温度管理 	×	・電力使用量は、2023年度に比べ 63kwh/年増加した。	減少になるよう努める 
	②化石燃料使用量の削減	・エコドライブ 10 か条の徹底	○	・化石燃料使用量は2023年度より207L/年減少した	続けてエコドライブ 10 か条を徹底 
2.	廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済み紙の裏面利用の促進 ・段ボール等梱包材の再利用促進 ・「コピー用紙・FAX 用紙再利用 BOX」を設置し、使用紙をシュレッダー後梱包材として再利用 	○	・廃棄物排出量は、2023年度と比べ75Kg/年減少した。	続けてコピー用紙のペーパーレス化を進める  
	① 廃棄物のリサイクル推進 ② 梱包の簡素化				
3.	水使用量の削減 生活用水の節水に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇口に節水弁をつける ・雨水利用を考える 	○	・水使用量は2023年度と比べ、横ばいであった。	続けて減少に努める 雨水利用についても考える 
4.	グリーン購入の推進 環境配慮製品の購入の促進・情報の収集	・メーカー及び仕入先と情報交換し、エコマーク製品・循環製品・サービスの購入に努める	○	・環境配慮製品の購入の促進・情報の収集に努めた	さらにエコマーク製品・循環製品・サービスの購入に努める 
5.	環境配慮製品・サービスの提供 環境配慮製品の情報の収集・顧客への提供	・お客様にエコマーク製品・循環製品・サービスを提供する機会を設ける	○	・メーカー主催の展示会に参加し、最新の環境配慮製品に触れる機会を設けた	さらに積極的に機会を設ける
6.	環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務の中での教育徹底 ・各自の環境についての考えを聞く機会をつくる 	○	・異業種勉強会を通じて、環境について積極的に勉強をした	今後も積極的に勉強会・展示会に参加する 
	①常に環境関連の商品知識習得に努める ②展示会見学への積極的な参加				

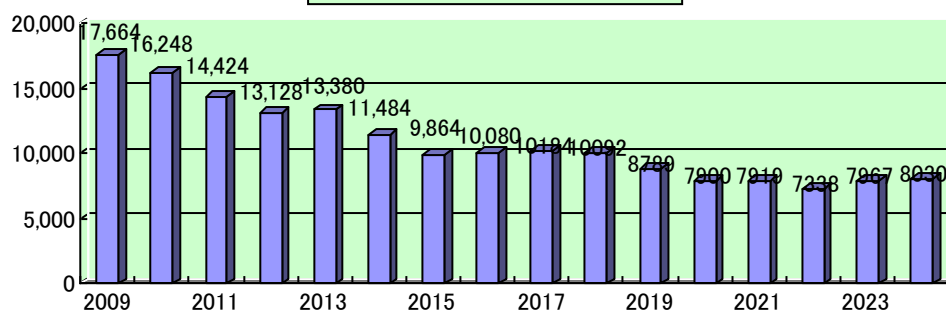
6. 年度別環境パフォーマンス実績

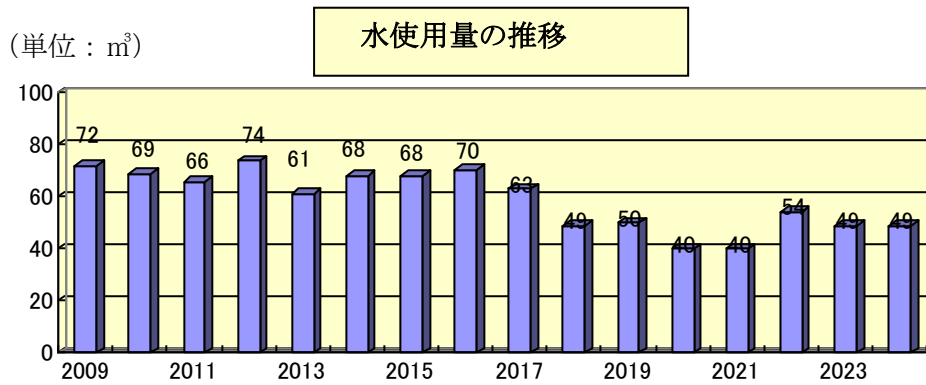
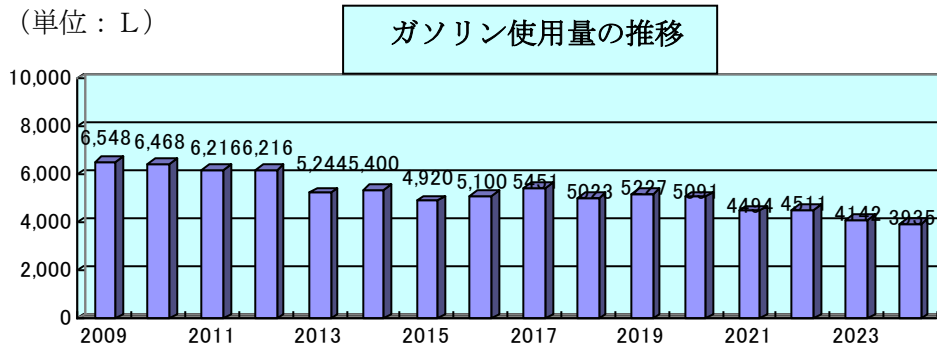
項目	単位	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
電気 使用 量	kwh	17,664	16,248	14,424	13,128	13,380	11,484	9,864	10,080
ガソリ ン使用 量	L	6,548	6,468	6,216	6,216	5,244	5,400	4,920	5,100
水使 用量	m ³	72	69	66	73.8	61.2	67.8	67.8	70.2

2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
10,184	10,092	8,789	7,900	7,919	7,338	7,967	8,030
5,451	5,023	5,227	5,091	4,494	4,511	4,142	3,935
63.0	49.0	50.0	40.0	40.0	54.0	49.0	49.0

(単位：k w h)

電気使用量の推移





7. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

7.1 環境関連法規の違反

当社に適用される環境関連法規等については、令和7年5月1日遵守状況点検の結果、問題ないことを確認した。

7.2 訴訟等

当社の環境管理に対する利害関係者からの訴訟又は関係当局からの指摘等は過去3年間ありません。

環境関連法規等一覧表

	環境関連法規等名称	遵守事項	適用条件・ポイント	遵守状況
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	一般廃棄物の処理	① 適正処理（分別）	○
			② 減量努力（再使用等）	○
			③ 地方公共団体の施策に協力	○
	墨田区廃棄物の減量及び処理に関する条例	事業者の減量義務	① 事業系廃棄物の減量	○
			② 廃棄物の発生抑制	○
			③ 再利用の容易性	○
地球温暖化	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第一種特定製品の管理	① 簡易点検：業務用エアコン等に3ヶ月に1回以上実施	○
		第一種特定製品廃棄時の義務	① フロン回収時に「引取証明書」を受領し、3年間保存	適用無し
			③ 第一種特定製品引取等実施者に「引取証明書」の写しを交付	適用無し

8. 代表者による全体評価と見直し結果

エコアクション 21 に認証・登録後、今まで社員全員が周知徹底して行動し、結果が概ね出ていることに、社員の環境意識の向上を感じた。昨年度に続き本年度も、工夫をしながら活動に努めました。今後はこの活動を多くの仲間に周知できる様努めたい、また更に情報収集に努め、省エネ環境に配慮した環境機器の情報提供および販売に徹底してより一層成果が出るように取り組んでいきたいと思えます。SDGs の啓蒙・推進を含め、環境の変化に柔軟に対応をして、環境に優しい、環境を配慮した会社になれるよう努めます。

以上